

2024 年度 事業報告書

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

(敬称略・第〇回は奨励賞受賞回)

第 1 事業の状況

1 「公益目的事業」(公 1)の実施状況

(1) 鑑賞会事業—芸術文化に関する鑑賞会の開催(定款第 4 条第 1 項)

事業収入なし

鑑賞会事業支出(予算) 3,135,000 円

鑑賞会事業支出(実績) 2,534,280 円

* うち報償費(出演料・出展者報酬) 1,050,000 円

A 「音楽鑑賞会」の開催

- ① 北海道を代表する円熟芸術家の鑑賞会シリーズのコンサートを 2 回／1 日開催した。(主催)
- ②③④ 道立美術館で北海道の若手音楽家によるコンサートを 3 回開催した。(共催)
- ⑤ 後志地区 5 か所の美術館で、北海道の音楽家によるコンサートを 5 回／2 日開催した。(共催)

① 【道銀文化財団 ARTIST BANK 2025 Kitara シリーズ】有料

【昼公演】冬のファンタジア、【夕公演】冬の華やぎ

日 時：2025 年 2 月 2 日(日) 13:00～14:00／16:00～17:30

会 場：札幌コンサートホール Kitara 小ホール

出 演：倉岡陽都美(ソプラノ・第 31 回)、鎌倉亮太(ピアノ・第 29 回)

荏原孝弥(テノール)、合唱：札幌大谷大学在学学生・卒業生 6 名

入場数：昼公演 309 名(3 歳以上可)

夕公演 336 名(未就学児不可)

入場料：1,000 円

内 容：北海道の音楽界を牽引してきた音楽家を招いてのコンサートシリーズ第 5 回目。

道銀本店ロビーコンサート(無料)に変えて、コンサートホール Kitara にて歴代奨励賞受賞者の出演による有料コンサートを 1 日に 2 回開催した。

2 名の受賞者を中心に道内ゆかりの演奏家たちが芸術性の高い演奏を披露し、客層に合わせた構成・演出でシリーズ初回到に相應しい華やかなコンサートとなった。

② 【Art Ensemble # 21 北海道立函館美術館コンサート】美術展鑑賞付き・無料

CALDO SANGUE ～心に熱き歌を～

日 時：2024 年 11 月 2 日(土) / 14:00～14:40

会 場：北海道立函館美術館ホール

出 演：男山俊太郎(テノール／函館市在住)、阿部蒼平(テノール)、高橋茉耶(ソプラノ)、

鈴木詩音(ピアノ) 以上札幌市在住

選 考：道南地域(渡島・檜山管内)出身もしくは在住者を含む若手音楽家(グループ)を公募により選考した。

入場数：100 名(当日整理券配布)

内 容：若手ながら実力派の出演者たちが函館ならではの地元愛溢れる演出にも工夫し、オペラリアや歌曲を披露した。会場全体に一体感のある、あたたかな雰囲気の中、来場者・出演者ともに充実したコンサートとなった。

③ 【Art Ensemble # 22 北海道立近代美術館コンサート】美術展鑑賞付き・無料

音降りそそぐ夜に～3 種のオーボエとマリンバで

日 時：2025 年 3 月 1 日(土) / 18:30～19:10 (113 名入場)

出 演：太田駿祐(オーボエ)、橋本涼平(マリンバ)

入場数：113 名(ハガキ抽選)

④【Art Ensemble #23 北海道立近代美術館コンサート】美術展鑑賞付き・無料

春の彩り〜クラリネット・ファゴット・ピアノの音色にのせて〜

日 時：2025 年 3 月 8 日(土) / 18:30~19:10 (115 名入場)

出 演：朝倉愛(クラリネット)、清水彩会(ファゴット)、永井花帆(ピアノ)

入場数：115 名(ハガキ抽選)

②③④ (共通)

選 考：北海道在住の若手音楽家(グループ)を公募により選考した。

会 場：北海道立近代美術館 1 階ホール

内 容：閉館後の美術館を貸切り、美術展鑑賞後にコンサート開催した。

美術展入場券は 200 名/2 回分を財団が買い上げて来場者を無料招待した。

美術展に相応しいプログラムにトークを交え、鑑賞者はフレッシュな演奏を楽しんだ。

⑤【しりべしミュージアムロード・コンサート 2024】無料・美術展鑑賞無料(4 館)

ふえふきふたりの楽譜ものがたり

日 時：2024 年 7 月 27 日(土) 3 回、28 日(日) 2 回

会 場：27 日 小川原脩記念美術館、有島記念館、木田金次郎美術館、

28 日 (一財)荒井記念美術館、西村計雄記念美術館

出 演：ふえふきふたり 八條美奈子、立花雅和(フルート)

選 考：北海道在住の音楽家(グループ)を公募により選考した。

入場数：230 名(5 館計)

内 容：開催 5 館と財団が実行委員会を組織して共催により開催した。

2024 年度から 5 館中 4 館は当日の美術展鑑賞を無料にしたことから、来場者にはより満足度の高い芸術鑑賞会となった。

道内のフルート界においてはキャリアも長く、経験豊富な Duo が完成度の高い演奏を披露した。展覧会のテーマを考慮したプログラム構成と、MC の中に織り混ぜた「音楽豆知識」に来場者は興味深く耳を傾けた。

B「美術鑑賞会」の開催(すべて入場料無料)

① ギャラリー移転オープンを記念して美術展を 10 回連続開催した。(主催)

② 北海道を代表する円熟芸術家の鑑賞会シリーズの美術展を 1 回開催した。(主催)

③ 「らいらっく・ぎやらりい」で北海道の高校美術部生の作品展を 1 回開催した。(主催)

④ 「らいらっく・ぎやらりい」で北海道で美術を学ぶ学生の作品展を 5 回連続開催した。(主催)

⑤ 北海道銀行等の支店ロビーで、北海道の高校美術部生の作品展を通年開催した。(共催)

各事業詳細は以下のとおり。

①【道銀文化財団 ARTIST FILE】

「らいらっく・ぎやらりい移転オープン記念展」Vol.1~Vol.10

会 期：2024 年 5 月 15 日(水)~9 月 29 日(日) 各 2 週間ずつ 10 回連続開催(20 週間)

会 場：らいらっく・ぎやらりい

出展者：平向功一(日本画・第 8 回)、久野志乃(絵画・第 22 回)、上ノ大作(空間造形・第 26 回)、香西信行(陶芸・第 9 回)、陳曦(日本画・第 10 回)、菱野史彦(金属彫刻・第 27 回)、クスマエリカ(デジタルコラージュ・第 30 回)、井桁雅臣(絵画・第 21 回)、會田千夏(絵画・第 20 回)、水野剛志(日本画・第 33 回)

入場数：のべ 2,713 名

内 容：ほくほく札幌ビルの竣工に伴い、ギャラリーが移転リニューアルオープンしたことを記念して、オープンからの 20 週間を歴代道銀芸術文化奨励賞美術部門受賞者の中から 10 名に出品を依頼し、リレー形式で個展を連続開催した。

初日にはテープカットを行った。

会期中は多くの道民が様々なジャンルの作品を鑑賞し大きな感動を受けた。また、作家との対話も楽しみ、街中のギャラリーが芸術文化の振興に果たす役割の重要性を印象付けた。

②【道銀文化財団 ARTIST BANK 2024】國松明日香展 with Kelly Detweiler

会 期：2024 年 10 月 2 日(水) ～10 月 14 日(月・祝)

会 場：らいらっく・ぎやらりい

出展者：國松明日香（彫刻家）、ケリー・デトワイラー（美術家一版画・絵画／米国）

入場数：569 名

内 容：北海道の美術界を牽引してきた美術家を招いての個展シリーズ第 7 回目。

作家の意向でアメリカと北海道との美術交流の歴史の中で深い縁を持つカリフォルニア在住の美術家との二人展の形で開催した。会期中は作家と鑑賞者の対話の機会も多くみられ、より身近に作品を感じられる貴重な芸術鑑賞機会となった。

③【現在(いま)を見つめる眼 Vol.21】 ～全国にはばたく北海道の高校生たち

会 期：2025 年 1 月 4 日(木)～1 月 13 日(月・祝)

* プレ展示 2024 年 12 月 27 日(金)～2025 年 1 月 3 日(金)…ガラス越し鑑賞のみ

会 場：らいらっく・ぎやらりい

出品校：北海道札幌南高等学校、岩内高等学校他、道内高等学校計 10 校

入場数：291 名

内 容：2025 年度高文連全国高等学校総合文化祭美術工芸部門に推薦された絵画 10 点を展示し、多くの道民が高校生作品の芸術性の高さに感動した。美術部生徒の創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。例年通り、全作品には特注の木製額を贈呈した。

④【らいらっく学生展】

「星槎道都大学 作品展」

「北海道教育大学岩見沢校 美術文化専攻有志学生展」

「札幌武蔵野美術学院 学院生作品展」

「札幌大谷大学作品展 泰晴＜私の見えるもの 埋れて視えない隣人＞」

「北翔大学 芸術学科 絵画ゼミ展」

会 期：2025 年 1 月 14 日～2 月 17 日(月) * 各 1 週間ずつ 5 回連続開催

会 場：らいらっく・ぎやらりい

内 容：北海道銀行本店ロビーから会場を移し、独立したギャラリーでの開催としたことから出品者による在廊も可能となった。各校は日頃の研鑽の成果を発表したり、個展・グループ展などを自主企画により開催するなど各展示目的に合わせて、この機会を有効に活用した。

鑑賞者はそれぞれに特徴のある展覧会を楽しんだ。また、本展には美術家も多く訪れ、次代を担う若き美術家たちに期待する声が数多く聞かれた。

⑤【北海道銀行・北陸銀行支店ロビー展】

高校美術部の生徒作品展

会 期：通年 / 平日 9：00～15：00(銀行営業日・営業時間)

会 場：北海道銀行宮の森パーソナル支店一札幌西高等学校（札幌市）

出展校 北海道銀行屯田パーソナル支店一札幌北陵高等学校（札幌市）

北海道銀行旭ヶ丘支店一市立札幌旭丘高等学校（札幌市）

北海道銀行白石支店一札幌啓成高等学校（札幌市）

北海道銀行大麻支店一大麻高等学校・江別高等学校（江別市）

北海道銀行岩内支店一岩内高等学校（岩内町）

北陸銀行白石支店一札幌厚別高等学校（札幌市）

内 容：支店ロビーに各校美術部生徒の作品を 1～2 点ずつ、概ね 1～2 か月ごとに展示した。今年度より、北陸銀行初のロビー展を白石支店にて開始した。

多くの地域住民が毎回楽しみに来店し、地元の高校生の感性豊かな作品に感動した。美術部生徒も展示を目標に意欲を持って取り組み、創作活動への励みとなった。

(2) 助成事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第4項）

	事業収入なし
助成事業支出(予算)	2,505,000 円
助成事業支出(実績)	2,473,249 円
*うち助成金	2,400,000 円

北海道を拠点に活動する芸術家や芸術文化団体を対象に、その優れた芸術創作活動を支援するために「道銀芸術文化助成金」を交付した。

A 【2024 年度事業—助成金交付・立ち合い／視察】

決定した助成対象先 39 件に助成金を交付した。

B 【2025 年度事業—公募・選考】

公 募：2024 年 10 月 25 日～12 月 25 日

選考委員会：2025 年 1 月 30 日(金)、ほくほく札幌ビル 5 階会議室にて開催

音楽部門 前川公美夫（選考委員長）、八木幸三、

美術部門 柴勤（選考副委員長）、平向功一（以上 4 名）

応募総数：80 件（音楽部門 47 件、美術部門 33 件）

選考の結果：47 件（音楽部門 25 件、美術部門 22 件）を選出した。

決 定：対象先と助成金額を 2024 年度第 5 回理事会で決定した。

(3) 奨励事業—芸術文化に関する優れた活動を行うものに対する顕彰（定款第4条第2項）

	事業収入なし
奨励事業支出(予算)	1,250,000 円
奨励事業支出(実績)	1,174,863 円
*うち賞金	1,000,000 円

優れた芸術文化活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家に対して「道銀芸術文化奨励賞」を贈呈し、賞金を授与した。

A 【2024 年度 第 34 回 道銀芸術文化奨励賞 選考委員会】

開催日：2024 年 10 月 18 日(水)

会 場：ほくほく札幌ビル 5 階会議室

出 席：音楽部門 前川公美夫（選考委員長）、八木幸三、本堂知彦

美術部門 柴勤（選考副委員長）、門間仁史、樋泉綾子 以上 6 名

B 【2024 年度 第 34 回 道銀芸術文化奨励賞 贈呈式】

開催日：2025 年 2 月 19 日(水)

会 場：ほくほく札幌ビル 11 階会議室

受賞者：音楽部門 永沼絵里香（ピアノ）

美術部門 葛西 由香（日本画）

・音楽部門受賞者は 2025 年 5 月に開催する「道銀ライラックコンサート」にて札幌交響楽団と共演予定。

・美術部門受賞者の受賞記念展（個展）は 2025 年 11 月に「らいらっく・ぎやらりい」にて開催予定。

(4) ギャラリー事業—芸術文化に関する創作発表と鑑賞機会提供のための施設の管理運営

(定款第4条第3項)

ギャラリー事業収入(予算)	500,000 円
ギャラリー事業収入(実績)	650,000 円
ギャラリー事業支出(予算)	850,000 円
ギャラリー事業支出(実績)	639,242 円

北海道銀行から施設の無償貸与を受け、ほくほく札幌ビル1階の「らいらっく・ぎゃらりい」を運営した。

「らいらっく・ぎゃらりい」

① 一般利用者への貸し出し

10月15日利用分から一般利用者への貸し出しを開始した
予約を先着にて受付け、13週の個展、グループ展等へ貸出した。

② 移転オープン準備

- ・新利用規程「利用案内書」とギャラリー周知のための案内はがきを作成・配布した。
- ・財団公式ホームページのうちギャラリー関連ページをリニューアルした。
- ・備品の買い替えを行った。
- ・「アートギャラリー北海道」に新しく加盟した。

2 「その他事業」(他1)の実施状況

連携支援事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第4項)

	事業収入なし
連携支援事業支出(予算)	300,000 円
連携支援事業支出(実績)	300,000 円

道内各分野の芸術文化団体の活動を支援するために、その主催する事業に対し協力した。

2024年度は公益財団法人札幌交響楽団の演奏活動を支援し、寄附及び協賛をした。

2024年4月 「パトロネージュ会員」年会費一口として200,000円

2024年12月 「新進演奏家育成プロジェクト」協賛金として100,000円

3 事務局の管理・運営(法人会計)の実施状況

	事業収入なし
管理費支出(予算)	285,000 円
管理費支出(実績)	308,113 円

各事業の実施に向けた事務局の管理運営を行った。

財団の事業活動の周知を目的にコンサートを1回開催した。

令和6年度「札幌文化奨励賞」を受賞した。

すべて法人会計の範囲で実施した。

A 【ほくほく Welcome Concert 2024】 ～北の大地をかける風へ

日時：2024年4月22日(月) / 15:15～16:20

会場：北海道銀行ほしみ研修センター

出演：倉岡陽都美(ソプラノ/第31回)、鎌倉亮太(ピアノ/第29回)

入場数：223名

内容：ほくほくフィナンシャルグループ新入行員研修の一環として、企業メセナと当財団の事業活動の周知を図ることを目的にコンサートを開催した。

オペラアリアから馴染みのある唱歌の他、北陸銀行・北海道銀行の行歌も演奏した。

※ 参加者・鑑賞者が限定されることから、鑑賞会事業(公1)には該当しない。

B 令和 6 年度「札幌文化奨励賞」受賞

授賞式：2024 年 11 月 21 日(木) ホテルニューオータニイン札幌
賞金等：表彰状と副賞として 100,000 円を受領

C 令和 6 年度「札幌文化奨励賞」受賞記念祝賀昼食会

日時等：2025 年 2 月 19 日(水) 12：20 ほくほく札幌ビル 11 階会議室
出席者：理事・評議員・監事・各選考委員・事務局計 17 名

4 資産の状況（2025 年 3 月 31 日現在／単位：千円）

A 2024 年度収支決算

	期初予算	決 算	備 考
収入合計	5, 9 0 7	6, 2 5 8	
(公 1) 事業費支出	7, 7 4 0	6, 8 2 1	
(他 1) 事業費支出	3 0 0	3 0 0	
(法) 法人会計支出	2 8 5	3 0 8	
支出合計	8, 3 2 5	7, 4 2 9	
当期収支差額	△ 2, 4 1 8	△ 1, 1 7 1	

B 2024 年度末資産残高 投資有価証券は額面（取得価額）により表示

	期初予算	決 算	備 考
前期繰越金	3 1 9, 4 2 7	3 1 9, 4 2 7	
現金預金	3, 7 1 7	3, 7 1 7	普通預金（前払金含む）
特定資産（公益事業活動資産）	4, 1 3 0	4, 1 3 0	投資有価証券・定期預金
特定資産（鑑賞会事業活動資金）	1 0, 0 8 0	1 0, 0 8 0	定期預金
特定資産（鑑賞会事業準備資金）	1, 5 0 0	1, 5 0 0	普通預金
基本財産	3 0 0, 0 0 0	3 0 0, 0 0 0	投資有価証券・定期預金
次期繰越金	3 1 7, 0 0 9	3 1 8, 2 5 6	
現金預金	1, 2 9 9	4, 0 1 0	普通預金（前払金含む）
特定資産（公益事業活動資産）	4, 1 3 0	4, 1 3 0	投資有価証券・定期預金
特定資産（鑑賞会事業活動資金）	1 0, 0 8 0	1 0, 1 1 6	定期預金
特定資産（鑑賞会事業準備資金）	1, 5 0 0	0	普通預金
基本財産	3 0 0, 0 0 0	3 0 0, 0 0 0	投資有価証券・定期預金